
今日の味噌汁

十目一八

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今日の味噌汁

【Nコード】

N8196Y

【作者名】

十目一八

【あらすじ】

ある日の夕食のことである。
味噌汁は蜆だった。

（前書き）

勢いで書いてしまったものです。

文章が変かもしれないし、面白くないかもしれない。

何か一言頂ければ幸いです。

ある日の夕食のことである。

私は、家族と共にいつも通りの食事を楽しんでいた。

今日の味噌汁は蜆しじみである。

「ねえ、」

突然、妹が箸を止めて口を開いた。

「昔の人はどんな喋り方してたの？」

妹は中学生である。

学校で古文を学び始めたばかり。当然、現代の言葉とは異なっている。では何故、古語は話されなくなったのか　ということらしい。

「そりゃあ、あれだ。……流行？」

無理矢理まとめようとした父は、妹の冷やかな一瞥のもとに撃沈した。

「ほら、あんた、学校で習ってるでしょ？ 『竹取物語』とか。あんな感じよきつと」

すかさず母がフォローに入る。妹は少し考えると、

「じゃあ、昔の人は『ちよつと待ってて』って言う時、『暫し待て』とか言ってたの？」

（正直言っても良い）

そんなことを思いながら、私は蜆の味噌汁を啜っていた。

「兄ちゃんは、どう思う？」

流れ弾に被弾した。

「どう思っつて言われてもなあ」

何も考えずに味噌汁を啜っていた私は、対処法を探して目をうつろろさせる。

「あつ、じゃあさ、兄ちゃんこれから古語で話してよ」

「は？」

とんだ要求である。

が、ここは男の意地、私も一応進学校に通っているものであり、古文のテストではそこそこの点数を保っているのだ。

「じゃあねえ……」

妹は暫し思案し、

「忘れ物だよ取りに来て！　を古語訳しなさい」

……。

「わ、忘れ物なり、取りに来たれ……？」

しーん。

沈黙が食卓を包む。

私は醤油を取ろうと手を伸ばす。

「じゃあ次は……あ、お茶こぼれるー！」

「あなわびし！ お茶のまさにこぼれむとす、かな？……っぐあっちゃー！」

そう叫んだ私のズボンに、熱い番茶が降り注ぐ。

「注意したのに」

「また問題だと思ったんだよ」

「じゃあ」

「まだやるのか」

「やるよ！ このあさりの味噌汁すごく美味しい、は？」

「あさりじゃなくてしじみだからな」

空気と化していた父が口を挟む。間違いを指摘された妹は、父に冷たい一瞥を向け、意見を封殺した。父は母に泣きついた。

気まずい空気の中、私は再び醤油に手を伸ばす。

「うん、あれは多分書き言葉だったんだろう。話し言葉はまた別だったんじゃないか」

面倒臭くなったので適当に誤魔化すことにした。

「ああそうか！」

妹はやけに納得した顔になる。私は冷奴に醤油をかける。

「水戸の黄門様も今とあんまり変わらない喋り方してたね！」

沈黙が、再び食卓を支配する。

この子は未だにテレビの中の出来事は全て事実だと思っているようだ。

啞然とした私は、ふとまだ手に醤油の容器を持っていることに気付く。無論、傾けたままである。

冷奴は醤油の海に沈み、目の前には憤怒の形相を浮かべる母の顔。

空の醤油を置くと、私は味噌汁を一口啜る。

温くなつてはいたが、しじみの旨味は健在だった。

豆腐の行方は、誰も知らない。

（後書き）

お読みいただきありがとうございました。

夕食時に古語の話になったのは本当ですが、この話の半分位はフィクションです。

感想批判意見アドバイス等、何でも良いです。一言下さい。よろしくお願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8196y/>

今日の味噌汁

2011年11月24日12時50分発行